

グアテマラ内政・外交（2010年3月）

平成22年4月
在グアテマラ日本国大使館

1. 概要

内政面では、2日、麻薬及び武器密売容疑により、ゴメス国家文民警察(PNC)長官のほか、麻薬取締局長、港湾・空港監督局所属警官等が逮捕された。2009年の当国人権状況に関する国連人権高等弁務官事務所及び米 국무省による報告書が発表され、依然として深刻な人権状況について懸念が表明された。17日、当国において、国連薬物犯罪事務所(UNODC)中米地域事務所が開設された。

外交面では、コロン大統領が、エルサルバドル訪問(15日)、ロシア訪問(22日～23日)、イタリア訪問(24日～26日)を行ったほか、クリントン米 국무長官が当国を訪問した(5日)。国連の持続可能な開発委員会議長を務めるフェラテ環境天然資源大臣が日本を訪問し(18～19日)、「発展途上国における廃棄物処理サービスの展開にかかる国際会議」に出席した。

2. 内政

(1) ゴメス国家文民警察(PNC)長官逮捕

(イ) 2日、ゴメス国家文民警察(PNC)長官が、CICIG(グアテマラ無処罰問題対策国際委員会)、検察庁及び内務省の混成部隊による11ヶ月に亘る共同捜査の結果、麻薬及び武器密売容疑により逮捕された。ゴメス長官と共に麻薬取締局長、港湾・空港監督局所属警官(警部)等も逮捕された。また、ゴメス元長官等のグループが盗んだとされる麻薬約750キログラムの内370キログラムについては既に押収されている。

(ロ) CICIG等による捜査は、昨年4月にアマテイトランで発生した武装グループ間の抗争関連情報と、PNC内部の警察官グループが麻薬密売組織「ロス・セタス」の麻薬の一部を横領したとの情報を基にして行われ、既に13人の警察官が逮捕されていた。カストレサーナCICIG代表は、「われわれはPNC内部の汚職の中核で行われている重大な犯罪を摘発した。ゴメス元長官が麻薬窃盗の仕切役・主犯であることを確証つける十分な事実を握っている。」と述べた。またメノカル内務大臣は「魔女狩りではなく、安全と治安を提供すべき国家機関の強化を目指すものである。」と述べた。

(2) 2009年当国人権状況に関する国連及び米 국무省報告

(イ) 24日、Kyung-wha Kang(康京和)国連人権副高等弁務官は、2009年の当国人権状況に関する報告書を発表した。同報告書に関するコミュニケでは、「国家文民警察(PNC)統計によると、2008年に56件であったリンチ殺害事件は2009年119件にまで増加した。国連人権高等弁務官事務所は、リンチが人権を著しく侵害する行為であることを改めて表明する」、「国連人権高等弁務官事務所は、民間企業が公的機関に代わり当国における大部分の治安維持機能を担っている状況に懸念を表明し、国家文民警察(PNC)が効率的に治安維持に携わる必要があることを繰り返し表明する」、「2009年に当国で発生した食糧危機のより250万人に及ぶ人々が影響を蒙った。国連人権高等弁務官事務所は、当国政府が貧困層を始めとするすべての国民に食糧

を行き渡らせる義務を果たすため、迅速に必要な行動を起こすことを要請する。」等が指摘された。

(ロ)12日付当地各紙は、米務省の2009年人権状況に関する年次報告書において、当国の人権保障については深刻なまでに不十分とされた旨報じた。同報告書では、治安当局要員による司法手続きによらない殺害に対する捜査・処罰能力不足、警察及び司法制度における汚職、ジャーナリスト・労組関係者に対する脅迫、女性に対する暴力、先住民に対する差別、児童労働などが主な問題として指摘された。

(3)ベラスケス前内務大臣の逃亡

10日、治安当局がベラスケス前内務大臣(今年2月28日更迭)を公金横領容疑で逮捕するため同前大臣自宅へ赴いたが、前大臣は既に逃亡していた。当国裁判所は、国外逃亡の可能性もあるとして国際刑事警察機構(インターポール)に対し国際手配を要請した。ベラスケス前内務大臣に対しては、国家文民警察(PNC)のガソリン購入のための引換券を横領した容疑が掛けられている。

(4)国連薬物犯罪事務所(UNODC)中米地域事務所の開設

17日、コロン大統領及びメノカル内務大臣は、当国における国連薬物犯罪事務所(UNODC)中米地域事務所開所式に出席した。同事務所では、麻薬・資金及び資産洗浄・汚職・テロの4分野における問題への対策が目指される。今後半年以内に、同事務所組織犯罪対策センターも開設される予定となっている。

(5)全国教員連合による賃上げ要求問題

1日、コロン大統領は全国教員連合代表者との間で、教員給与の10%引き上げ(2010年1月分から適用)で合意に達した。同合意では、教員側が要求する2009年分の6%の引き上げ分については、5月以降に開始する両者間の協議で合意に達する予定であるとし、2011年には右支払いが可能となるよう目指すとした。

(6)新型インフルエンザ(H1N1)問題

31日、保健省は同日までの新型インフルエンザ(H1N1)の感染者数等について、感染者数が前月比で2名増加し、感染者数計1,096名、死者計18名である旨発表した。

3. 治安情勢関連等

(1)長距離バス運転手等による道路封鎖

22日、長距離バス運転手により、首都周辺及び国内各地で道路封鎖が行われ、深刻な交通渋滞や小中学校の休校などが生じた。道路封鎖の理由について参加者は、国会においてグアテマラ市内のバス運転手のみ利する法案が議論されており、長距離バス関係者には不利となっていることに抗議したものであるとした。また、道路封鎖に参加した短距離バス運転手は、(バス運転手襲撃事件が止まない中で)身の安全の保障を要求した。この事態を受け国会側は、審議中の関連法案について再検討する旨約束した。この道路封鎖により負傷者2名が生じた。

4. 外交

(1) コロン大統領のエルサルバドル訪問

15日、コロン大統領はエルサルバドルを訪問し、フネス・エルサルバドル大統領及びロボ・ホンジュラス大統領と、組織犯罪及び麻薬対策等に関する会談を行った。3カ国大統領は会談後の共同記者会見において、ホンジュラスの中米統合機構(SICA)及び米州機構(OAS)への再加盟の必要性を改めて強調し、フネス・エルサルバドル大統領は、「我々はホンジュラス国民を孤立させるわけにはいかない。」と述べた。

(2) コロン大統領のロシア訪問

(イ) 22日から23日、コロン大統領は当国大統領として初めてのロシア訪問を行った。22日午前、コロン大統領はメドヴェージェフ露大統領と会談し、その後、両国代表団を交えた拡大会合を行った。23日には、サンクトペテルブルク市における在サンクトペテルブルク・グアテマラ名誉領事館開館式への出席、マトヴィエンコ同市市長との会談等を行い、同日午後、次の訪問地であるローマへ向け出発した。

(ロ) 当国政府はコロン大統領のロシア訪問について、「コロン大統領の露訪問の主要成果としては、両国間の査証免除協定の策定完了及び当国警察官が今後同国で無料で教育を受けられる事となることが挙げられる」、「両国大統領は、当国における水力発電や原油に関する投資プロジェクトについて協議を行った」、「メドヴェージェフ露大統領はロシア向けに輸送されるコカインの大半は中米を経由している旨述べ、当国の麻薬密輸及び組織犯罪対策への援助を発表した」等とするコミュニケを発表した。

(3) コロン大統領のイタリア訪問

24日から26日、コロン大統領はイタリアを訪問した。24日、コロン大統領は、在ローマ・グアテマラ人との会合及びラジオ・バチカンを通じたグアテマラ国民向けラジオ番組「大統領府」放送への出演を行い、25日には、国連食糧農業機関(FAO)、国連世界食糧計画(WFP)関係者等との会合を行った。26日には、バチカン市国でベネディクト16世と会談し、27日、帰途についた。25日の国連食糧農業機関(FAO)及び国連世界食糧計画(WFP)関係者との会談では、FAOより当国東部乾燥地帯(Corredor Seco)における飢餓問題対策のために5.5百万米ドルに及ぶ資金援助を行う旨の表明を受けた。

(4) クリントン米国務長官の当国訪問

(イ) 5日、クリントン米国務長官は当国を訪問し、コロン大統領、フネス・エルサルバドル大統領、ロボ・ホンジュラス大統領、アリアス・コスタリカ大統領、フェルナンデス・ドミニカ共和国大統領、バロー・ベリース首相及びクレメント・パナマ経済財務大臣と会談した。

(ロ) 会談後、クリントン国務長官は、「今次訪問の目的は、2月のコロン大統領米国訪問の際に議論したCICIGの強化及び麻薬対策のテーマをフォローすることにある」、「オバマ政権は、中米地域の麻薬密輸問題における責任を認め共有する。我々はこの問題の当事者であることを認め対策を講じる政権である」、「オバマ大統領は、移民改革について出来るだけ早くコンセンサスを模索することを約束している」、「(ホンジュラスのクーデター及び選挙について)現在民主的に選出された大統領がおり、テグシガルパ・サンホセ合意が実

行されている。ロボ大統領の国内統一と民主主義の強化を支援する」等発言した。

(ハ)また、同会合に参加した中米各国首脳等は、「ロボ・ホンジュラス大統領を承認し、ホンジュラスの社会的調和、国内の安定、国民統一と和解努力を支援する」、「米州機構(OAS)総会特別総会においてホンジュラスの参加資格撤回を中止するために、中米統合機構参加国の会合を速やかに開催する」、「中米地域の気候変動によるネガティブな影響を懸念する。COP15のコペンハーゲン首脳会議で合意した資金を得るために、地域的計画を含む政策及び戦略を策定することを約束する」等宣言した。

(5) フェラテ天然環境大臣の訪日

18日から19日、国連の持続可能な開発委員会議長を務めるフェラテ環境天然資源大臣は日本を訪問し、「発展途上国における廃棄物処理サービスの展開にかかる国際会議」に出席した。なお、右に先立ち同大臣は、16日から17日に韓国で開催された「気候変動緩和、燃料効率及び持続可能な都市交通に関する国連フォーラム」へも出席した。